

# 全委員でしっかりチェック!

総額 **152億9,735万円**の活かし方

3月14日、15日、17日の3日間、令和5年度予算について議員全員が委員となり、審査を行いました。委員長に佐藤幸三委員、副委員長に菅澤博隆委員が選任されました。ここでは、質疑の一部を要約してお伝えします。



**他市町村との比較は**  
 行橋千春委員 コンビニで印鑑証明書などが取得できるようになっているが、交付手数料について、他の市町村と違いはあるのか。  
**住民課長** 現在、本町のコンビニ交付（印鑑証明書、住民票）手数料は窓口交付と同額の300円となっており、市町村によっては、コンビニ交付手数料を安く設定している自治体もあるため、今後検討していきます。

**一般会計**  
**空港機能強化に伴う影響は**  
 石渡悦子委員 空港用地の拡大により、どの程度の固定資産税の増額が望めるのか。  
**税務課長** 空港敷地拡張エリアのデータは公表されていないため、税務課独自で推計したところ、税額への影響は最低でも6000万円余りと捉えています。



佐藤幸三委員長

**ふるさと寄附金増に向けた対策は**  
 菅澤博隆委員 ふるさと寄附金が前年度と比較して増額となっているが、従来の返礼品にプラスして新しい対策は予定されているのか。  
**財政課長** PRの強化として寄附金取扱いサイトに本町の広告を掲載することや、寄附金取扱いサイトを8サイトから9サイトへ増やして募集を行う予定です。



町で販売中の指定ゴミ袋

**町独自のゴミ袋の原価率は**  
 石渡悦子委員 現在、町で販売している町独自のゴミ袋の原価率は。  
**生活環境課長** ゴミ収集処理手数料は2130万円程を見込んでおり、ゴミ袋を作る費用は約680万円となるため、3分の1となります。

**デマンド料金収入増の根拠は**  
 菅澤博隆委員 デマンドタクシー利用料金収入が前年度と比較して増額となっているが、利用者数増加を見込む根拠は。  
**企画政策課長** 10月に循環バス常磐

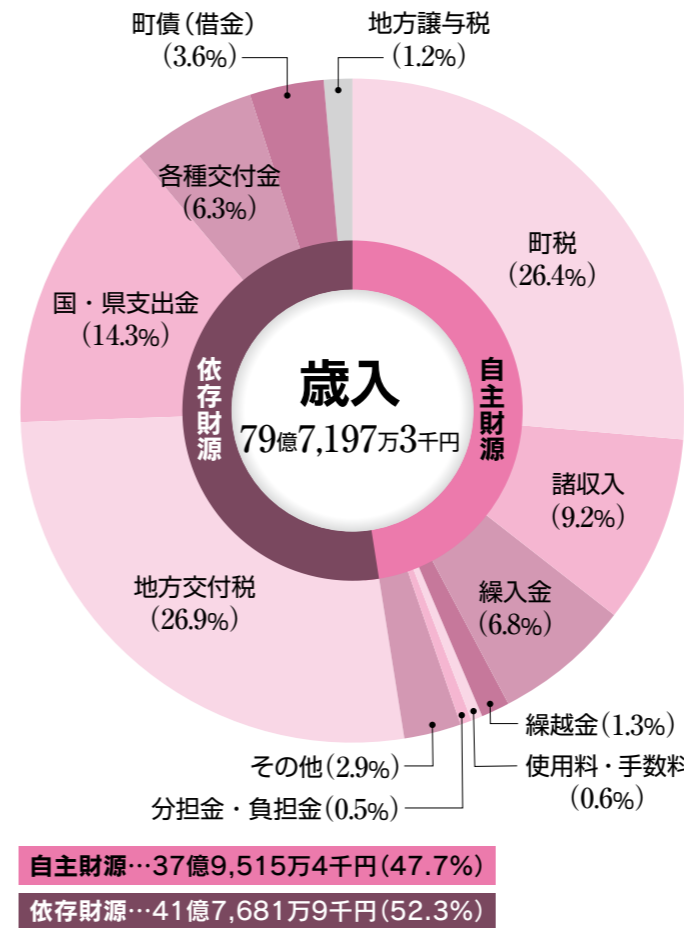


町のPRと共に走るシャトルバス

**町民の利便性を高めるために**  
 橋本孝之委員 年々増加している空港シャトルバス料金収入を生かし、常磐地区、久賀地区などを經由する新ルートを運行することはできないか。  
**企画政策課長** 現在利用にあたっては、多古台バスターミナルや道の駅多古第2駐車場でパーク・アンド・バスライドをしていただくことを想定しています。車に乗れない方や町外から訪れた方への対策は課題であり、今後地域公共交通計画を策定していく中で検討していきます。

# 令和5年度 一般会計の内訳

※ ( ) 内は構成比率



項目	金額	説明
町税	21億197万円	町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税
諸収入	7億2,958万4千円	延滞金・受託料・雑入など
繰入金	5億4,321万3千円	特別会計や基金から繰り入れるお金
繰越金	1億円	前年度からの繰越金
使用料・手数料	4,874万6千円	道路占用料・ゴミ収集処理手数料・各種証明書手数料など
分担金・負担金	3,983万7千円	こども園保育料・学童保育料など
その他	2億3,180万4千円	基金利子・財産貸付収入・ふるさと寄附金など
地方交付税	21億4,500万円	どこの自治体でも一定のサービスが受けられるよう国が交付するお金
国・県支出金	11億4,297万9千円	国や県が目的を特定して交付するお金
各種交付金	5億519万9千円	地方消費税交付金・ゴルフ場利用税交付金など
町債(借金)	2億9,040万円	町が事業を行うために借り入れるお金
地方譲与税	9,324万1千円	国税として徴収され一律的に市町村に譲与されるお金

項目	金額	説明
人件費	15億9,225万6千円	特別職及び職員の給料など(内議員分は3.1%)
物件費	12億9,871万2千円	委託料・備品などの購入費
普通建設事業費	11億704万9千円	道路や橋りょうの改良費、拠点施設整備工事など
繰出金	7億8,514万9千円	特別会計や企業会計に繰り出す費用
扶助費	6億5,945万1千円	児童手当や子ども医療費など
公債費	3億7,799万円	町の借金を返済するために使う費用
維持補修費	1億2,680万6千円	施設などの補修に使う費用
積立金	9,505万2千円	町の基金に積み立てる費用
補助費など	19億635万7千円	補助金や負担金として支出するもの
その他	2,315万1千円	投資および出資金

